

ン能力等の向上が学べる場の創設等も視野に入れ、従来の取り組みに合わせていくことが望ましいと考えます。

③新しい婚活を提案している団体があるという取り組む予定か。

町内にある団体やNPO法人等、今後大きく育ってほしい思いもあり、提案いただいた内容を十分見たと上で、共に取り組める部分があれば積極的に取り組みたいと考えます。

★まちの事業推進について

①まちの重点事業は。

平成31年の重点施策は健康づくりの推進、農業の振興、林業の振興です。

②新規事業・重点事業に対する取り組みが弱いと思うが、認識はあのか。

重点的に取り組み、成果をあげている事業もあり、取り組みが弱いという認識はありません。

③今のままで効率的な事業推進ができないと思うが。

各担当課で事業推進に向けて職員が創意工夫し、各種事業に取り組み、今後も国内外にアンテナをはり、町にあった取り組みをしていきます。

【中西吉吉議員】

★香典返し寄附金横領事件について  
①お金を扱う職員に出納員辞令を出すか、出納員が受けとるように指示したがその後は。

公金の扱いはないため、出納員でなくても取り扱えます。複数体制で扱い、出納員である課長が確認します。

②当時、真相究明の妨げを発言できる立場にあった人は誰か。

捜査をしている警察だと思えます。

③町として確証は取れているのか。被害者にはそのことを伝えたか。

証言が一致している部分と一致していない部分があり、確証が取れたとは言いません。寄附者には捜査中で伝えていません。

④平成26年以降議会には伝えたか。

昨年5件目の発覚以外、新情報はなくお伝えできていません。

⑤警察に提出した調査資料の控えの保存期限は。

保存期限は10年です。

⑥、⑤の情報公開は。

警察の指導により、警察からの要請による捜査に係る提出資料は公開しないように聞いています。

⑦5回の領収書は確認できているが残りの1回は何を保持して確認したのか。

聞き取りによるもので、確認できる領収書はありません。

⑧町はなぜ被害届を社協から出させたのか。

紛失で被害を受けたのは社協で、被害届は社協から出し、警察にも相談してその後指示をもらっています。

⑨鏡野町という自治体が加害者だと思っていないという答弁だが、誰が加害者なのか。

町の窓口で寄附されたものが、社協に届いていないのが事実で、町という自治体が、加害者とは思っていません。誰が加害者か分からないので、警察に捜査をお願いしています。

⑩時効が成立した場合、誰が責任をとるのか。

町の顧問弁護士と相談して検討したいと考えます。

⑪寄附金預かり業務中に紛失し、預かり額を社協に渡した場合、町は被害者になるのではないか。

「町が社協に補填をしても、町は被害者にはならない」という警察の見解と同じです。

⑫被害者と共同で問題解決にあたりと言ったが状況は。

現在、町の顧問弁護士と相談をしています。

⑬町長と寄附者、社協、町関係者等が顔を合わせ共同で問題解決することの何処が人権問題にあたるのか。

捜査権のない我々で、犯罪の可能性を疑った調査することが、思い込みにより個人の名誉を棄損する恐れもあり、慎重に進めたい思いを言ったものです。

★現在の議場は車イスで入れず聴覚や視覚障害者に対して配慮がないため改善改良を。

庁舎は建物が古く、物理的に可

能かどうかを含め今後協議します。  
★障害者に利用しやすい健康づくりの場が少ないと思うが。

身障協会で行っている親睦や県の身障者スポーツ大会等があります。障害者に特化した健康づくりの場ではなく、誰もが参加できるイベント等を推進します。

★高清水高原のトレッキングコースが現在整備中だが、車イス利用者が楽しめるようにコース設計変更を。

計画当初、高清水高原までを含む路線はコンクリート舗装し、(緊急)車輛等の通行も検討しましたが、山の傾斜や地形等から断念した経緯もあります。

今後新たな施設整備を行う場合は、物理的に可能であれば車イス等の利用も十分考慮したいと思えます。

★インバウンドで外国の観光客が増えているが、町は看板やWifi利用エリア等の整備が不十分だと思うが。

既存の看板を活かし、主要な観光施設やスポットから順次改善します。Wifi整備は県の動向を見据えながら、町内施設の導入推進を検討します。

★自転車積載できる町営バスの導入やリース自転車の配備を。

町民や観光客、サイクリスト等それぞれの利用者のニーズを把握しながら、サービス面や運営面等の課題を解決しながら検討します。

★上齋原地域の小学新入生ゼロとなった対策と類似地域の対策は。

地域での就業人口の減少や利便性を追求する若者、人それぞれ考え方は違います。現在まで地元で事業をしている原産や振興公社、森林興産等しっかり地元根付いた営みを送っている企業を育成し、安定した雇用を確保していくことが大切だと思います。

例えば上齋原には林業に携わりたい3世代が移住され、豊富な森林資源を活用し、原木なめこやキクラゲの生産・開発・販売に至るまでの取り組みをしています。類似地域でも地域産業や特性を最大限に生かし上手くPRし、移住定住を含めた人口を増やす要因に繋げていきたいと思えます。

平成31年 1月会議 (1月22日)

1月会議が開かれ、本山前議員 辞職に伴う欠員となった一部事務 組合議会議員等の選任と発議がありました。

一部事務組合議会云議員等 (敬称略)

津山圏域衛生処理組合

光吉 準

津山圏域消防組合

原 章倫

発議

鏡野町社会福祉協議会寄附金紛失事件の調査に関する決議案について (原案可決)